壬生町政だより

40年10月号

No.　82

毎月1回発行

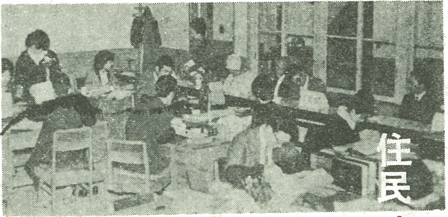
発行所　栃木県壬生町役場

諸統計より

人口統計	昭和40年10月1日現在	対前月比
総人口	24,245人	42人増
男	11,889人	21人〃
女	12,356人	21人〃
世帯数	4,788世帯	7世帯〃

共同募金にご協力ください

住民サービスを主眼に
窓口事務の一本化
役場の機構改革


（カット写真は新設された住民課の窓口）

壬生町役場では、行政の効果を挙げ住民の福祉を向上させるために、機構改正を行い十月一日から発足しました。

この機構改正は配置換えによって行われ、特に窓口事務を一本化して、住民のみなさんに一カ所で用のたりるように、そしてサービスの向上に努めるために今度住民課を新設しました。

また、町の上下水道事業、開発事業及び都市計画事業などを担当する開発課も新設されました。

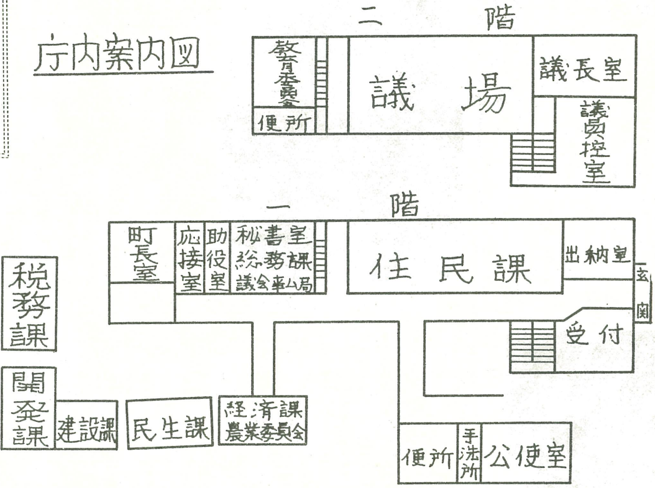
それに伴い従来の保険課は住民課、民生課、税務課へそれぞれ配置されて廃止されました。

新しい機構は次のようになりましたので、課名及び係名をご案内します。

秘書室＝秘書係　文書広報係
総務課＝庶務係　財政係、統計係
税務課＝庶務徴収係、町民税係、資産税係、保険税係
住民課＝窓口係、戸籍係　住民係、年金係
民生課＝福祉係、保険係　衛生係、消防係
経済課＝農政係、振興係　改良係、商工係
建設課＝庶務係、土木係　建築係
開発課＝上下水道係、計画係
出納室＝会計係、物品出納係

なお、役場にお出掛けの際は入口の案内係にお聞きください。

庁内案内図



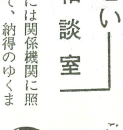
ご紹介

ご利用ください
「町民相談室」

こんどの機構改正で、住民課の一部に「町民相談室」を設けました。

この町民相談室ではみなさんからの要望や苦情、陳情その他のご相談に応じます。

みなさんから受けた相談ごとは、各担当者が処理いたしますが、その場で解決できない場合には関係機関に照会して、納得のゆくまでお取りつぎをします。秘密はかたく守られますから、お気軽にご利用ください。



十四社進出が決定
輸出玩具団地

輸出金属玩具団地協同組合（理事長富山栄次郎）では、壬生町へ進出する企業の第二次を検討中のところ、このほど十四社の進出を決定し、十月から工場、事務所、住宅などの建設に着手することになりました。

その進出企業の決定に伴ない、来春操業までに一般の男女一九一名、中卒男女三七三名、高卒男女で二二六名、合計で七九〇名の求人募集を始めました。求職を希望される方は、県内各公共職業安定所へご相談ください。第二次進出企業名は次のとおり。

日光玩具工業株式会社、株式会社八千代製作所、有限会社平田玩具製作所、新生機器株式会社、有限会社平和ゼンマイ製作所、新東金属工業有限会社、第一化成株式会社、東京小型歯車協同組合、有限会社小林電球製作所、株式会社金坂鉄工所、株式会社大熊製作所、深津ゴム工業所、小松原製作所、秋沢塗装工業所の以上十四社

適材適所に配置
職員の人事異動

機構改革に伴い、大巾な人事異動が十月一日付で発令されました。その内、①課長クラス十四名、②係長クラス十四名、③主事クラス二十二名、④主事補クラス三十二名、合計八十二名。詳細は次のとおり。（カッコ内は旧任）

①課長クラス　十四名
▽秘書室長　加藤惲（総務課秘書、文書、広報係長）▽総務課長　菊地栄（税務課長）▽同補佐兼庶務係長　森田章伍（保険課賦課徴収係長）▽税務課長　荒川三男（経済課長）▽同補佐兼庶務徴収係長　梁島久四郎（同課税第二係長）▽住民課長　田辺武（総務課長）▽同補佐兼住民係長　山田良次（総務課庶務係長）▽民生課長　大橋寒二（保険課長）▽同補佐兼福祉係長　白石竹次郎（同厚生係長）▽経済課長　津久井重雄（農業委員会事務局長）▽建設課長兼開発課事務　高橋四郎（建設課長）▽開発課長兼建設課事務　粂川郁二（建設課長補佐）▽農業委員会事務局長　清水生一（経済課振興係長）▽教育委員会事務局教務課長　川野辺弘二（民生課長）

②係長クラス十四名
▽秘書室文書広報係長　国生俊道（税務課庶務徴収係長心得）▽税務課町民税係長　鈴木義人（同課税第一係長▽同資産税係長　福島勝美（出納室出納係長）▽同保険税係長　大久保和（南太飼支所）▽住民課窓口係長　大森保（総務課戸籍係長心得）▽同戸籍係長　松本貞十郎（総務課戸籍係長）▽同国民年金係長　山本多喜雄（民生課国民年金係長）▽民生課保険係長　石川登（保険課資格給付係長）▽経済課農政係長　鈴木俐（同農業改良係長）▽同振興係長　木野内洋市（同農業改良係長心得）▽建設課庶務係長　寺内善次（同用地係長）▽開発課上下水道係長　柏忠（建設課技師）▽同計画係長　吉沢清司郎（建設課土木係長心得）▽出納室会計係長兼物品出納係長　鈴木之夫（南太飼支所）

③主事クラス二十二名
▽秘書室勤務　山口三男（総務課主事補）▽総務課勤務　小田垣勤（同主事補）▽同　梁島和夫（稲葉支所主事補）▽同佐々木ソメ（南太飼支所主事補）▽税務課勤務　荒川正（南太飼支所）▽同　橋本守（同主事補）▽同　若井弘（同主事補）▽同　木村玄（同主事補）▽住民課勤務　白石博英（保険課主事補）▽同　山名延男（稲葉支所主事補）▽同　水野幸男（経済課主事補）▽同　田村光宏（民生課主事補）▽民生課勤務　植竹進（保険課）▽同保健婦　坂本サク（保険課）▽同保健婦　大木シゲ子（保健課）▽同保健婦　鈴木イヨ（保険課）▽建設課勤務　粂川俊夫（同主事補）▽同　荒川充訓（同主事補）▽農業委員会事務局勤務　小谷野稔（同主事補）▽南犬飼支所勤務　入江ミヨ（南犬飼公民館事務主事補）▽同　倉井秀雄（経済課）▽同　野沢ミツエ（同主事補）

④主事補クラス三十二名
▽秘書室勤務　安川美涼（出納室）▽同、技師補　人見治男（総務課）▽総務課勤務　大橋カク（壬生小事務）▽税務課勤務　臼井孝（民生課）▽同　松原千寿子（経済課）▽同　植竹勝美（経済課）▽同　出口慎一郎（保険課）▽住民課勤務　山川節子（壬生中事務）▽同鈴木光子（総務課）▽同　船田道子（民生課）▽同　小島ミサ（税務課）▽同　葭葉幸子（総務課）▽同　大塚佳子（総務課）▽同　山田真（教育委員会事務局）▽同三橋秀（税務課）▽同　高村喜美子（税務課）▽同　二瓶義彦（民生課）▽同　大島千代子（稲中事務）▽同　佐藤貞子（総務課）▽経済課勤務　塚田征夫（税務課）▽同　渡辺英雄（税務課）▽同　瓦井宏満（税務課）▽開発課勤務　高山順子（保険課）▽同工手　軽部一男（建設課）▽出納室勤務　太田芳明（南犬飼支所）▽稲葉支所勤務　神長孝子（保険課）▽同勤務　日永正己（民生課）▽南犬飼支所勤務　倉井芳枝（総務課）▽第一保育所勤務　人見イハ子（第二保育所兼務を解く）▽壬生小事務　田村明子（民生課）▽稲中事務　小谷野絢子（保険課）▽壬生中事務　葭葉敏子（総務課）

百人目の誕生

壬生町上稲葉にある母子健康センターは、昭和三十九年七月一日に開所していらい、順調な運営を行って参りましたが、このほど百人目の赤ちゃんが誕生しました。

この赤ちゃんは梁島喜代子ちゃんで、両親は下稲葉の一樹、久子さんの長女で、町長が名付け親となりお祝いしました。

戸籍無料相談

婚姻、離婚、住民登録その他お悩みの方は是非ご相談下さい。

◇とき　十月二十八日十時から三時まで
◇ところ　中央公民館
相談員法務局栃木支局係官、各市町村事務担当者、役場住民課

お知らせ
児童会館の開館

県では、主として中学生以下の児童を対象として、家庭及び学校等で得られない優良文化財を与え、また、健全な遊びやレクリエーションを行う児童会館が八幡山公園内に完成しました。

これを利用される方は児童会館または県庁児童課へお申込みください。

十一月の心配ごと相談日

第一火曜日　中央公民館　二日
第二火曜日　稲葉公民館　九日
第三火曜日　中央公民館　十六日
第四火曜日　南犬飼公民館　二十三日
時間はいずれも十時から三時まで

ハイキングへ行こう！

○場所　奥日光、菅沼方面
○期日　十一月七日（日）
○会費　六〇〇円
申込先は十一月五日までに教育委員会事務局へ

善意銀行

匿名で「福祉施設に利用してください」と八月二十三日金千円、九月二十七日金千円を寄託。

また、静岡県　田中時雄氏　十月十一日付で四一〇円寄託。

十一月の納税
国保税第五期分

第三者の構成による特別職報酬等審議会を設置

九月定例町議会

壬生町町議会の九月定例会は、九月二十九日午前十時、役場議場に招集されました。町長及び町議の報酬に関する総務常任委員長の中間報告と一般質問の後、議案七件と請願一件が上提された。可決されたもののうち主なものは次のとおりです。

▽壬生町消防団の設置条例の一部改正

本町の消防機械化体制は昨年で一段落し、昨年も一台消防自動車を購入し、国谷に配置したため人員についても変更がありました。団長一名、副団長二名、分団長三名、部長一六名（旧一七名）班長一六名（旧十九名）その他の団員一七六名（旧二〇二名）これは今年の四月一日から施行になります。

▽壬生町課設置条例

十月一日から新たに住民課を設け、住民に対する窓口を一本化しました。

それと開発関係全般を受けもつ開発課を設置。国民健康保険課を廃止して、民生課と税務課、住民課へそれぞれ配属しました。（詳細は一面の役場の機構改革と人事異動参照）

教育委員早川氏

▽壬生町教育委員の任命について

早川近一委員の任期が切れましたので今回、壬生町大字壬生町甲三二三番地 早川近一氏の任命について議会の同意を得て再任されました。

▽壬生町特別報酬等審議会条例

この委員会は、町長の諮問機関として設置するもので、委員の人数は五名、資格は壬生町の区域内の公共的団体等の代表者と、その他住民となっております。今面の報酬等に関しても適用されます。

▽請願一件

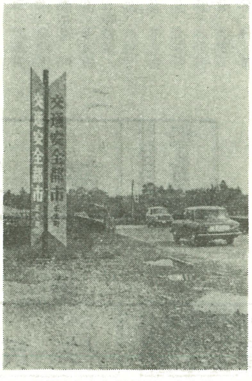
旧軍人軍属及びその遺家族に対する、恩給関係国家処遇に関する請願が採択されました。

安全塔を設置

総合安全会

壬生町総合安全会では事故防止を徹底しようとこのほど町内の三カ所に交通安全塔を設置しました。

設置場所は、古川橋付近、安塚淀橋間、稲葉七ツ石のそれぞれ県道の三カ所にとりつけました。工費は一基四万五千円、これで事故防止は一段と強化されることでしょう。

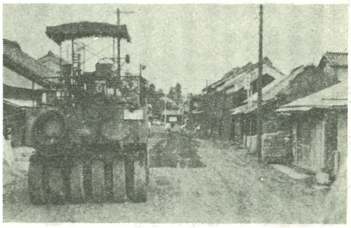


設置された矢羽根型の安全塔

公民館通りの舗装はじまる

役場では中央公民館通りの簡易舗装を実施することになりました この道路は小、中学校生徒の通学道路であり、自動車の交通も増える一方です砂利道で路面も悪いために地元から寄附の申出もあった為、舗装することに決ったものです。

延長は約二百七十メートル、巾員は八メートルで中央公民館入口まで。工費七十五万円、完成は十月の末の予定です。



公民館通りの路盤工事

宇井さん世界選手権へ

ハンドボール

日本ハンドボール協会は、十月二十四日からチエコのプラハで行われる第三回女子七人制世界選手権大会に壬生町六美町出身の宇井敬子さん（東京、大崎電機所属）がチームの主将として出場しました。

本町から五名出場

秋の国民体育大会

十月二十四日から行われた第二十回国民体育大会秋季大会が岐阜県で開催され、本町からも五名（本町出身の高校生）が出場し大いに活躍しています。

出場選手は、

高校の部

◇ボクシング

栗原郁男君　作新学院（犬飼中出身、安塚）

◇女子バスケット

大島政子さん　宇女商（壬中出身、上横町）

橋本陽子さん　宇女商（壬中出身、上通町）

板橋愛子さん　宇女商（壬中出身、星の宮）

阿部良子さん　宇女商（壬中出身、上表町）

秋の競技会ひらく

クロッシング・ゲーム

全国交通運動の八日目を迎えた、十月二日壬生小学校々庭で第一回クロッシング・ゲーム競技大会が行われました。

この競技は、全国的に教育種目として、交通規則にもとづいて行われるゲームです。

今度の競技では、壬生町全校八チーム約八十名の児童が参加して熱戦が展開されました。

その結果

第一位　安塚小学校

第二位　北小学校

第三位　壬生小学校B組

がみごとに優秀な成績をおさめました。

写真＝壬生小でひらかれたクロッシングゲーム

芸術祭

下都賀地区

・児童生徒造形　10月25日〜10月28日　会場　壬生小学校

・書道　10月30日、31日　会場　壬生小学校

・写真　11月24日、25日　会場　中央公民館

・民謡　11月15日　会場　中央公民館

清掃する上新町の老人クラブ

老人クラブが清掃奉仕

上新町の老人クラブ（御里長寿会 会長木村弁次、会員三十七名）では「社会につくし巳れを守る」ことをモットーに、社会につくそうと八幡神社の境内の清掃をいたしました。

荒れていた境内も見事にきれいになり皆さんから大へん喜ばれました。

農家収入を左右する米の乾燥方法

一俵の玄米にふくまれる水分は、検査規程によると、一等米、一四パーセント、二等米一四・五、三等米一五パーセントで昨年の統計から見ると、一一・五―一二・五パーセトが最も多く規格を上わまるものは一五パーセント位したそこで乾燥上一番注意することは、乾燥しすぎると胴割米ができるし自然、等級が落ちます。

例えば、二等米の規定水分量は一四・五パーセントですが過度乾燥して一二・五パーセントになると二パーセントの水分がへり、一パーセントで六〇〇グラムの目方で、二パーセントは一・二キロですから玄米量八合にあたり、額にすれば一三〇円です。その上胴割米が出て一等級落ちると三等級に格下げこの格差が八〇円、四等級に落ちれば一六〇円で一俵二九〇円の収入が減り、五〇俵となれば一四、〇〇〇円の大損をします。このように知らず知らずのうちに収入をへらしている農家が多いのです。

そこで、籾、米の水分測定が一番題ですが幸い各農業協同組合と食糧事務所に「電気水分測定機」がありますから、乾燥した籾を盃に一ぱい程度持参すれば無料ではかってくれます、大いにご利用下さい。

乾燥機使用上の注意は、常温通風乾燥であっても急速な乾燥をさけ火力乾燥の場合は四〇度を越さぬこと。

・噴風式は、乾燥程度が減少するとき強く吹きあげるしようげきに注意し、急激に乾燥すれば籾ガラと玄米の乾燥度のバランスがとれず、糠の壁が崩れ、内部の澱紛層が早く乾燥するので、胴割が出来ます。

火力乾燥機を使うときは二三回送風を中止して調節してから、完全に燃焼した風を送るように注意して下さい。

（若林壬生町農産物受検組合長談）

「タバコ」は町で買いましょう

「壬生史帖」

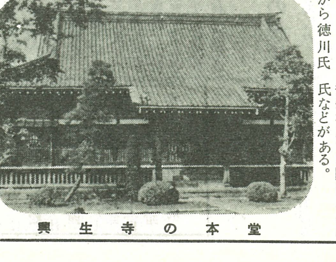
江戸時代の壬生

一、戦国から江戸へ

天正十八年「西暦一五九〇年」豊臣秀吉は北条氏を滅ぼして天下を一統したがこの年壬生氏も滅亡した。其の後秀吉の死後八年で関ケ原の戦となり世の変遷をへて天下の政権は豊臣氏から徳川氏へと移動した。関原の戦「慶長五年」の後徳川氏がすっかり豊臣氏の勢力を一掃するためには大阪冬の陣夏の陣の戦など十五年の年月を要した。尚幕制の確立とか諸大名の封地の転替などで徳川氏万年の安泰の基礎づくりのため十数年の年月を要した。名実共に徳川氏が天下統治の実権を握り天下に号令を下す様になったのは家光が三代将軍となった寛永の年でありこれを壬生にはめれば壬生氏滅亡後三十三年の間である。当時の世相としてはあわただしく落つく暇のない時で壬生も結城氏の支配後領主も転々として変った。その大体を左表によって示すと

城主	在任	入封転封
結城直朝	在任一〇年	天正十八から慶長五
日根野吉明	在任三四年	慶長五から寛永十一
阿部忠秋	在任三年	寛永十一から寛永十三

ここで参考までに徳川「江戸」時代の大名の種別を略記する。まず将軍家と親疎の関係よりするものを家門譜代外様の三種とし、領地の大小格式よりするものを国持国持なみ城主城主格領主の五級とした。家門とは徳川家とは親類の相柄で所謂御三家の外松平氏などで親藩とも言う、壬生城主となったものでは結城氏松平氏などがある。譜代とは関原の戦以前から徳川家に随身していたもので壬生城主では阿部氏鳥居氏などがある。



興生寺の本堂

国持大名とは一国以上を領するもの国持なみは之に準ずるもの城主とは一国までは領せないが城を持っているもの城主格とはこれに準ずるもの領主とは城を持たぬ所謂陣屋を持っているものを言った。国持大名は加賀の前田薩摩の島津など十八家あり其の他合せて諸大名の総数は三百に近く略して三百諸侯と言った。この期間に壬生に関する記録が残っていないので只結城氏が雄琴神社境内に産霊神社と厳島神社とを造営したことと日根野氏が興生寺の再建につくしたことのみを記すことにする。

「福田」